

太陽光発電の売電収入を活用した農村集落の再生

<概要>

- ・ 事業実施主体：テイクエナジーコーポレーション（株）
（熊本県菊池郡菊陽町）
- ・ 事業実施場所：熊本県上益城郡山都町水増集落
- ・ 発電設備：太陽光発電（名称：水増ソーラーパーク）
発電出力 2,000kW
発電電力量 250万kWh/年（見込）
- ・ 建設費：5億5,850万円
- ・ 運転開始時期：平成26年2月

<特徴>

- ・ 集落の住民が管理していた土地を有効利用するため、県のメガソーラー候補地の募集へ登録。
- ・ 応募者の中から唯一、地域再生の提案を行ったテイクエナジーコーポレーション（株）の誘致を集落側が主体的に決定。
- ・ 年間約500万円の借地料、300～400万円/年の発電設備の管理費に加え、集落の管理組合とマーケティング包括協定協働プロジェクトを締結し、棚田米のブランド化や加工品の開発、農村カフェの整備、集落の維持管理等の経費として売電収入の約5%の500万円／年を地域に還元。
- ・ これらと呼ばい水として子供たちが帰ってくる集落となり、農村集落の再生モデルとなることを期待。売電期間終了後は、発電施設を集落に譲渡し、地産地消エネルギーとして活用予定。



発電施設の全景



水増集落の勉強会の様子